

## 令和8年度(2026年度) スクールミュージアム開催要項

### 1. 趣 旨

熊本県立美術館では、教育普及活動の一環として当館収蔵作品を学校へ持ち込み、一日だけの校内美術館を開催します。本物の美術作品を鑑賞することで、児童生徒の芸術、文化に親しむ心を育てるとともに、学校の協力により、保護者や地域の方々にも広く鑑賞していただく機会とします。

2. 事業名 令和8年度(2026年度)スクールミュージアム

3. 会 場 県内小中高等学校等6校程度

4. 主 催 熊本県立美術館

5. 開催時期 令和8年度(2026年度)10月～11月の間(各校1日)

～スクールミュージアム活用例～

#### ◆ 授業(鑑賞)

※ゲストティーチャーとして当館職員が作者についてのスライドトーク、クイズ、鑑賞タイムなどを実施

◆ 授業参観、授業公開日などに合わせ、鑑賞の場として設置

◆ 児童・生徒さんが地域の方と一緒に鑑賞する交流活動

◆ 中学生と小学生と一緒に鑑賞する小中連携事業

◆ 郷土熊本の調べ学習や、平和学習の中で、戦争を体験した熊本を代表するゆかりの作家・浜田知明を知る機会として

※具体的な活用方法については、夏休み期間を利用して、当館担当者と学校担当者と打合せを行います。

※作品鑑賞の十分な時間を確保できるようにしてください。

6. 開催時間 【通常案】9:00展示作業→11:30開催→15:00終了→撤収作業  
※具体的な時間は、開催校との打合せにより決定します。

7. 展示内容 浜田知明・シャガールの版画作品  
※展示内容は開催校との打合せにより決定します。作品のコンディションによっては、他の作品に変更する場合があります。

8. 会場構成 開催校内で、作品保護のための直射日光を遮ることのできる暗幕等がある教室、多目的室、体育館など
9. 展示撤収 展示・撤収作業は美術館職員が行います。有孔ボードの組立作業等は、学校職員でお願いします。美術館から持参する有孔ボード(下図参照)を8台使用、作品16点程度展示できます。  
※学校に有孔ボードがある場合、最大32点まで展示できます。



小中連携授業で展示



授業・学校開放日にあわせて展示

10. 作品解説 展覧会中は美術館職員が在室し、必要に応じてギャラリートーク(作品説明)や鑑賞授業を行うことができます。
11. 経 費 本事業に係る経費は、美術館が負担します。ただし、教室使用に係る経費及び保護者、地域住民への広報に係る経費は当該学校の負担となります。
12. 観 覧 料 無料
13. 応募方法 別紙「スクールミュージアム開催希望調査票」に必要事項を記入のうえ、5月28日(木)までに美術館へFAXまたはメールにて提出してください。(応募校が多数の場合、過去の開催経緯や地域性を検討のうえ、開催校を決定し、選定結果を6月下旬までに通知します。)
14. 応募条件 会場は、終日スクールミュージアムのみとして使用できること。  
会場は、直射日光を遮ることのできる暗幕等があること。  
作品の搬入・搬出の際、学校職員3名以上が対応できること。  
スクールミュージアム鑑賞マナー等の指導を事前に行うこと。  
鑑賞の際は、必ず教職員が引率を行うこと。  
過去3年以内にスクールミュージアムを利用していないこと。
15. その他 活動の様子は熊本県立美術館ホームページ等に掲載します。

